

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス カムさあ		公表日		令和 7年 3月 13日	
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
		環境・体制整備	1				
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	11	2	併設のグループホームの職員が放課後等デイサービスと兼務し対応を行っている。保育士、介護福祉士、看護士など専門職により配置を行っている。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	13	0	段差等なく車椅子での使用可能なトイレがあり、手すり完備している。机が個別となっているため、向き合うことを選べるので感染予防も出来ている。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	13	0	活動スペースは広く活動内容に応じた空間の確保が可能である。また感染予防も出来ている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	13	0	必要時、個別の空間やスペースを確保しこどもが安心して活動できる環境作りを行っています。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	12	1	業務改善における意見交換や情報共有等、常に職員間で行っている。朝のミーティングにて課題等を共有し、業務の見直しを行なっている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	13	0	日頃より送迎時など保護者とのコミュニケーションを大切に、意向の把握に努めている。また保護者へのアンケートを実施し、意向の把握や問題の解決を行なっている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	13	0	課題について協議した内容は書面にて全職員に回覧している。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	11	2	地域の方からの評価も運営に反映し活用している。評価結果を把握し、改善につなげている。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	12	1	ICTの利用促進による研修等の充実。WiFi環境、ノートパソコン等のインフラ整備により、会議や施設内・外の研修をオンラインで実施可能としている。	今後は更にそれぞれの媒体の利用を促進し、研修への積極的な参加により専門性やケアの質の向上に繋げる。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	13	0			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	13	0	利用者や保護者の意見を参考に反映されている。アセスメントを行い、日々の様子を記録し保護者との面談等でニーズを把握して、個別支援計画を作成しています。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	13	0	児童発達支援管理責任者や児童指導員と共に定期的なケース会議の開催を通じ、より細やかな支援や成長期におけるこどもの迅速的な支援、課題や目標、支援計画の内容・支援方法の見直しなど行っている。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	13	0	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われるようこどもの意見を聞き実施している。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	11	2	アセスメントツールを使用しながら、こどもの適応行動を把握できるよう実施している。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	13	0	保護者や児童のニーズに基づいた課題を取り入れて個別支援計画を作成し、支援に繋げている。	今後更に、保護者へのアンケート調査等を行い、検討課題の抽出に保護者や児童の意見を取り入れ、より良い関係が保て円滑な支援に繋がるよう取り組む。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	11	2	日々のミーティングにて活動内容を立案しています。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	11	2	グループホームの高齢者との交流やお手伝いを通して支援する側の役割を持ってもらっている。個々の児童の発達に応じて、学習や運動、音楽や美術を組み合わせ実施している。	画一的な支援とならないよう留意し、児童の特性や傾向に応じた支援が行えるよう努めている。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	13	0	利用者本人の成長や発達・特性に応じて、放課後等デイサービス計画の作成・支援を行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	12	1	毎日の開始前ミーティングにて、個々の児童の様子やスケジュール確認を行い配慮すべき店や注意点を話し合います。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	12	1	支援終了後は、こどもの様子や内容を職員間にて話し合い共有をし、支援に役立てている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	13	0	支援記録は、支援計画の内容を基本とし、当日の利用状況や日程に沿って活動を行い、活動の様子、言葉や動き、表情など記載するように努めている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	13	0	定期的なモニタリングを行い、見直している。また、職員間にて情報共有し、個別に応じた支援を総合的に実施できるよう連携に努めている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	11	2	ガイドラインに従って活動している。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	13	0	職員及び保護者や関係機関と連携し、こどもの自己選択を支援する体制づくりや支援を行っている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	13	0	児童発達支援管理責任者を基本とし必要に応じ、保育士や児童指導員など適切な職員が参画している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	13	0	日頃より地域の医療、福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制づくりを行っている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	13	0	学校へのお迎え時に直接、担任の先生と情報共有を行うなど、顔の見える関係のもと情報共有を積極的にこなしている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	11	2	必要に応じ電話や直接訪問など積極的な連携を行っている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	12	1	移行支援の際、障害福祉サービス事業所の見学等実施している。関係施設の担当者や顔の見える関係作りを行っている。また保護者と連携を取りながら、情報共有を行なっている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	12	1	児童発達支援センターとの連携や勉強会等への参加により、専門的な児童の療育について学びの機会を確保を行っている。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	10	3	こどもや保護者と連絡調整を行い児童館や地域の子どもと一緒に遊んだり、地域行事に参加している。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	10	3	管理者や責任者が地域の協議会等に参加し、課題の把握に努めている。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	13	0	日頃よりこどもの状況を保護者と共有できるように送迎時など伝えている。またLINEや電話などでのやりとりも行っている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	9	4	児童発達支援管理責任者や児童指導員と共に家族に対して家族支援や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っている。	今後、定期的なケース会議の開催を通し、より細やかな支援や成長期における児童への迅速的な支援に繋いでいく。
関	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	13	0	担当者会議や必要時、また契約時に管理者や児童発達支援管理責任者より説明を行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	13	0	こどもの健やかな成長につながるよう、保護者と日々連携を図りながら支援を実施する。療育相談や意見交換、就労支援事業所等の見学など行っている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	13	0	児童の特性や状況等を考慮しながら目標達成に向けた放課後等デイサービス計画の説明を行っている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	13	0	普段から相談しやすい環境を目指し、必要があれば個別に行っている。日々の送迎時や面談の際、相談や支援を行なっている。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	11	2	常に地域とつながりを意識し、充実した日々を送っていただきたいと支援に努めている。児童及び保護者の希望に応じ、地域や保護者と協力し行事等への参加や開催を行っている。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	13	0	苦情や相談等の際は時は、迅速に対応している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	10	3	連絡帳、LINE、電話、送迎時に保護者へ会報等を手渡ししたり、SNS等も活用し発信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	13	0	個人情報ガイドラインに従って管理している。個人情報の取扱いについては、重要事項説明の際などに保護者へ説明し、同意を得ながら取り扱うようにしている。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	13	0	相手のペースにあわせるなど、個々の児童、保護者の特性に応じて配慮している。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	13	0	年末の餅つきや事業所の夏祭りに地域住民に参加していただいている。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	12	1	それぞれの緊急時対応をマニュアルにし、周知徹底している。	マニュアルを策定しているが、保護者には周知出来ていない。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	11	2	年2回の災害訓練を行っている。主に火災訓練を行い、児童の避難訓練を行なっている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	13	0	医療機関や保護者と連携し、てんかん発作等の既往のあるこどもへの緊急時の対応について事前に協議している。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	11	2	対応している。児童のアレルギーは、事前に把握して医師の指示に従っている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	13	0	こどもたちと避難訓練や勉強会の開催を行っている。地域対策では、地域の危険箇所の確認を行なっている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	13	0	安全確保に関して家族と連携し、また必要に応じ協議するなど緊急時の連絡体制の確保に努めている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	12	1	ヒヤリハット事例集を作成して、朝礼やミーティングにて共有している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	13	0	外部の講師による研修をうけたり、事業所内研修を行なっている。	
	54	虐待防止委員会及び身体拘束適正化検討委員会を定期的に開催し、その結果について従業者に周知徹底しているか。	13	0	法人全体で委員会を組織し、定期的に委員会の開催と研修を行っている。	
55	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	12	1	身体拘束は行っていない。ガイドラインや法人の規定に従って対応します。		